



「 \square 」と「 \square 」をめぐる試論

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-01-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 車, 美愛 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00005915

「옆」と「곁」をめぐる試論

車 美愛

韓国語には位置名詞と呼ばれる一群の名詞があり、存在表現を学習する際にまとめて扱われることが多い。それは「ものもものとの位置関係」を示すために使われる名詞で、主なものを挙げると次の通りである。

제 차는 역 뒤에 세워 두었습니다.
私の車は駅の裏に停めておきました。
슈퍼 앞에 주차장이 있습니다.
スーパーの前に駐車場があります。
테이블 위에 열쇠가 있어요.
テーブルの上に鍵があります。
아버지와 아들 사이엔 오랜 침묵이 흘렀다.
父と息子の間には長い沈黙が流れた。
창 밖엔 푸른 바다가 보였다.
窓の外には青い海が見えた。
서류는 가방 밑/아래에 있어요.
書類はかばんの下にあります。
장난감을 상자 안/속에 숨겼어요.
玩具を箱の中に隠しました。
바이올린 옆/곁에 악보가 있어요.
バイオリンの隣に楽譜があります。

こうした位置名詞の学習で多少問題になるのが、「속」と「안」、「밑」と「아래」、「옆」と「곁」の区別である。その中で「속」と「안」、「밑」と「아래」の区別については、車(1997、2003)で既に述べた。本稿では「옆」と「곁」の区別について述べる。

「옆」と「곁」は、上に示したようにどちらを使っても違いのない場合があるが、しかし置き換えがつねに可能というわけではない。一方しか使えない場合もあれば、一見、両者とも使用可能に見えても、実は意味が異なってしまう場合もある。韓国語の話者は両者の区別をごく自然に行なっているが、その区別を明確に定義した研究は存在しない。辞書の定義や説明を見ても決して明瞭とは言い難い。本稿は、この「옆」と「곁」に関する使い分けの区別を明らかにしようとするものである。

まず、「옆」と「곁」が韓国語の権威ある辞典ではどのように定義されているかを見てみよう。

『우리말 큰 사전 (国語大辞典)』 (語文閣)

결 : ① 일정한 사람이나 물체의 가까운 옆.

一定の人や物体のそばでごく近くの場合。

例 : 내 곁에 앉아라. 私の隣に座って。

화분을 책상 곁에 놓다. 植木鉢を机のそばに置く。

우리 곁을 떠난 사람. 私達のそばを離れた人。

② 가까이에서 보살피 주거나 도와 줄 만 한 사람.

近くで世話をしてくれる人、助けてくれる人。

例 : 곁이 많다 :そばで世話をしてくれる人が多い。

곁이 없다 :そばで世話をしてくれる人がいない。

곁을 비우다 : 보호할 사람이나 보관할 물건에 사람이 없어서 그 곁을 비우다. 保護すべき人や保管すべき物のそばを離れる (不在となる)。

その場を離れる。その場になくなる。手を離す。

곁을 주다 : 다른 사람으로 하여금 자기에게 가까이 할 수 있도록 속을 터 주다. 打ち解けて他人との距離を縮める。

心[氣]を許す。打ち解ける。すきを与える。

곁이 비다 : 보호를 받을 사람이나 보관할 물건의 곁에 사람이 없다. 保護を受ける人や保管されるべき物のそばに人がいない。

世話をしてくれる人がいない。

옆 : ① 왼쪽이나 오른쪽의 면. 또는, 그 근방.

右または左の面、あるいはその近所。

例 : 옆에 놓아두다. そばにおいておく。

옆을 보지 말라. 横を見るな。

『새 우리말 큰 사전 (新国語大辞典)』 (三省出版社)

결 : ① 어떤 사람이나 물체 [사물] 의 옆, 또는 그것을 중심으로 한 근처.

ある人や物体 (事物) のそば、あるいはそれを中心とした近所。

例 : 책상 옆에 있는 책장. 机のそばの本棚。

정자 옆에서 있는 느티나무. 亭閣のそばにたっているケヤキ。

② 가까이 있으면서 도와 줄 만한 사람을 이르는 말.

近くにいて助けてくれる人をいう言葉。

例 : 곁이 많으면 외롭지 않다. 身寄りが多いと寂しくない。

결(이) 비다 : 보호를 받아야 할 사람이나 물건 곁에 보살필 사람이 없다. 保護を受ける人や物のそばに面倒を見る人がいない。

世話をしてくれる人がいない。

결(을) 비다 : 결(을) 비우다。

その場を離れる。その場になくなる。手を離す。

결(을) 비우다 : 보호나 보관할 사람이 없어서 그 곁을 비우다。

保護や保管する人がその場を離れる (不在となる)。

その場を離れる。その場になくなる。手を離す。

결(을) 주다 : 다른 사람으로 하여금 자기에게 가까이 할 수 있도록 속을 터 주다. 打ち解けて他人との距離を縮める。

心[氣]を許す。打ち解ける。すきを与える。

옆 : ①오른쪽이나 왼쪽의 면, 또는 그 근처. 양쪽 곁.

右または左の面、あるいはその近所、両側。

例 : 옆모서리. 側稜。

옆면. 横の面。

『국어대사전 (國語大辭典)』 (三星文化社)

곁 : ①어떠한 물체의 옆이나 근처.

ある物体のそばまたは近いところ。

例 : 네 곁에 있는 사람이 누구냐? きみのそばにいる人は誰なの。

커다란 바위 옆에 있는 고목. 大きな岩のそばにある古木。

곁(이) 비다 : 보호를 받아야 할 사람이나 물건 곁에 보살필 사람이 없다. 保護を受けるべき人や物のそばに世話をしてくれる人がいない。

곁(을) 비다 : 곁(을) 비우다.

その場を離れる。その場になくなる。手を離す。

곁(을) 비우다 : 보호나 보관할 사람이 없어서 그 곁을 비우다.

保護や保管する人がその場を離れる (不在となる)。

곁(을) 주다 : 다른 사람으로 하여금 자기에게 가까이 할 수 있도록 속을 터 주다. 打ち解けて他人との距離を縮める。

心[氣]を許す。打ち解ける。すきを与える。

옆 : ①오른쪽이나 왼쪽의 면, 또는 그 근처. 양쪽 곁.

右または左の面、あるいはその近い所。両面のそば。

例 : 옆길. 横道。

옆넓이. 横の面の面積、側面の面積。

옆(을) 들다 : 싸움이나 의론에 옹고 그름을 가리지 않고 어느 한쪽만을 옆에서 도와준다.

争い・議論などで一方をひいきする、肩を持つ。

옆(을) 찌르다 : 몰래 알려 주기 위해 옆구리를 찌르다.

そっと知らせるため脇をつつく。

『표준국어대사전 (標準國語大辭典)』 (斗山東亜)

곁 : ①어떤 대상의 옆, 또는 공간적/심리적으로 가까운 데.

ある対象のそば、あるいは空間的または心理的に近い所。

例 : 환자 곁을 지키다. 患者のそばで見守る。

아이는 엄마 곁으로 바짝 다가앉았다.

子供は母のそばにぴったりと近づいて座った。

지금 이 눈길을 곁에서 상호가 여기까지 찾아오는 것도 곁에 둔 자식이 없는 탓이라고 중구는 고개를 끄덕였다.

いま雪道を歩いてサンホがここまで訪ねてくるのも、面倒を見てくれる子供がないせいなのだと、ジョングはうなずいた。

②가까이에서 보살피 주거나 도와줄만한 사람.

近くで面倒見たり、助けてくれる人。

例 : 곁이 많다 :そばで世話をしてくれる人が多い。

곁이 없다 :そばで世話をしてくれる人がいない。

전쟁 중에 홀몸으로 월남한 그였으니 가까운 곁이 있을 리가 없었다. 戦争中に単身で国境を越えてきた彼だから、近親者がいるはずがなかった。

곁을 달다 : 付け加える。

곁을 들다 : そばで手伝う、手助けする。

곁을 떠나다 : 離れる、断つ。

곁을 비우다 : その場を離れる。その場になくなる。手を離す。

곁을 주다 : 心[氣]を許す。打ち解ける。すきを与える。

곁이 바르다 : 近くで面倒を見たり、助けてくれる人があまりいない。

곁이 비다 : その場を離れる。その場になくなる。手を離す。

옆 : ① 사물의 오른쪽이나 왼쪽의 면. 또는 그 근처.

事物の右または左の面、またその近い所。

例 : 옆으로 눕다. 横になる。

옆을 살피다. 周りを見回す。

옆에서 맞장구를 치다. そばで相槌を打つ。

우물 옆을 지나치다. 井戸のそばを通り過ぎる。

고개를 옆으로 돌리다. 首を横にまわす。

눈이 옆으로 찢어지다. 目が切れ長である。

옆 사람과 손을 잡다. 隣の人と手を繋ぐ。

친구와 회사 옆 다방에서 만나기로 했다.

友達と会社のそばの喫茶店で会うことにした。

큰 길을 따라 흘러내리는 강의 계곡 옆으로 펼쳐진 울울한 숲이 퍼붓는 빗줄기에 잎을 활짝 펼쳐 너울거렸다. 大通りに沿って流れゆく川の溪谷のそばにうっそうと広がる森が、激しく降り注ぐ雨に、葉をいっぱい広げてゆらりゆらりと動いた。

옆으로 빠지다. 横へそれる。ある状況から身を引く。

옆으로 빠져지다. 横へそれる。横へはみでる。

『국어대사전 (国語大辞典) (第3版)』 (民衆書林)

곁 : ① 사물의 주장되는 부분에 딸린 한쪽. 근방.

事物の主張される部分についている一面、近所。

例 : 꽃나무 곁에 서다. 花木のそばに立つ。

내 곁에 앉아라. 私の隣に座って。

옆 : ① 양쪽 곁. 兩側のそば.

例 : 옆모서리. 側稜。

옆면. 横の面。

옆을 찌르다. ひそかに知らせるため脇をつつく。

『국어대사전 (国語大辞典)』 (金星出版社)

곁 : ① 공간적/심리적으로 기준물로부터 가까운 데.

空間的/心理的に基準物から近い所。

例 : 거기 있지 말고 내 곁으로 와.

そっちにいないで私のそばに来て。

부모 곁을 떠나다. 兩親のそばを離れる。

옆 : ①왼쪽이나 오른쪽의 면. 또는, 그 근방.

右または左の面、あるいはその近所。

例 : 옆 모습. 横から見た姿。

옆 좌석. 横の席。

옆에 앉다. そばに座る。

옆으로 눕다. 横になる。

옆 짚러 짚 받기. 脇をつついて礼を受ける。

(相手をうながしてこちらの利益を計る)。

『한 국어사전 (한 國語辭典)』 (省安堂)

곁 : ①사람이나 물체의 옆이나 그 언저리.

人あるいは物体のそばまたはその周り。

例 : 곁을 비우다 : その場を離れる。その場にいなくなる。手を離す。

보호나 관찰할 대상의 곁을 지키지 아니하다.

保護や觀察の対象のそばを離れる。

곁을 주다 : 心[氣]を許す。打ち解ける。すきを与える。

다른 사람으로 하여금 자기에게 가까이 할 수 있도록 속을 터

주다. 打ち解けて他人との距離を縮める。

곁이 비다 : 보호를 받아야 할 사람이나 물건 곁에 보살필 사람이

없다. 保護を受ける人や保管する物のそばに人がいない。

世話をしてくれる人がいない。

옆 : ①오른쪽이나 왼쪽의 곳.

右あるいは左の場所。

例 : 옆 짚러 짚 받기. 脇をつついて礼を受ける。

(相手をうながしてこちらの利益を計る)。

これら権威ある大辞典の解説でも、「옆」 と 「곁」 の区別については十分に解明できているとは言い難い。これに比べると、いわゆる学習辞典の記述の説明の方がはるかに有用である。例えば、『朝鮮語辞典』(小学館)の「옆」 と 「곁」 の項につけられたメモでは「옆」 と 「곁」 は次のように対比されている。

『朝鮮語辞典』(小学館)

「옆」 は人・物について空間的な「横」を指し、「곁」 は人について心理的あるいは空間的な「そば、わき、もと」を指す。

곁 : ①そば、(人の)すぐ横、わき、傍ら。

一般に人以外には用いられない。物体の横は「옆」を用いる。

例 : 곁으로 다가가다. そばに寄る。

아버지 곁에 걸터앉다. 父の横に腰かける。

어머니 곁에서 책을 읽다. 母の傍らで本を読む。

곁에서 소동을 피우지 마라. そばで騒ぐな。
 곁에서 보는 것처럼 쉬운 일은 아니다。
 はたから見るほど楽な仕事ではない。

② (親の)もと。

例: 부모의 곁을 떠나다. 親もとを離れる。

③ 横の、わきの、分かれた。

例: 곁(을) 떠나다: ① (親の) ひざ元を離れる。② (婉曲に) 死ぬ。
 곁(을) 비우다[비다]:

その場を離れる。その場にいなくなる。手を離す。

例: 곁을 비우는 사이에 손님이 왔다 갔다.

ちょっと留守にしたすきに客が立ち寄っていった。

곁(을) 주다: 心[氣]を許す。打ち解ける。すきを与える。

例: 그 사람은 도대체 곁을 주지 않아 접근하기 어렵다.

彼は全然打ち解けないので近寄りがたい。

곁(이) 비다: 世話をしてくれる人がいない。

対照表: 横

位置	横	옆	옷장 옆에 거울이 있다. たんすの横に鏡がある。
	脇	곁	아들이 내 곁을 떠났다. 息子が私のもとを離れた。
方向	가로		선을 가로 긋다. 線を横に引く。

옆: ①そば、すぐ横、わき、傍ら、隣。

例: 옆에 다가서다. そばに寄る。

책상 옆에 서다. 机の傍らに立つ。

나는 학교 바로 옆에 살고 있다. 私は学校のすぐ隣に住んでいる。

옆에서 덤벼든다. 横合いから飛びかかる。

옆에 앉다. 隣に座る。

옆으로 눕는 버릇이 있다. 横向きに寝る癖がある。

이 물건 옆으로 옮겨 주세요.

この品物をちょっと横に移してください。

항상 내 옆에 있다. いつも私と一緒にいる。

옆에서 도와준다. 傍らで面倒を見る。

부모 옆에서 떠나다. 親のひざもとを離れる。

말을 옆으로 돌리다. 話をわきにそらす。

옆에서 참견하지마. 横から口を出すな。

옆으로 빠지다. 横へそれる。
옆(을) 찌르다. ひそかに知らせるため脇をつつく。
옆 질러 질 받기. 脇をつついて礼を受ける。
(相手をうながしてこちらの利益を計る)。

「결」の1番目の定義には、‘一般に人以外には用いられない。物体の横は「옆」を用いる’
と明記しているが、「옆」の例の中には、人の横・そば・隣の例が多数挙がっている。

大阪外国語大学朝鮮語研究室編『朝鮮語大辞典』(角川書店)の「옆」と「결」の項には
次のような記述が見られる。

결 : ①そば、わき、傍ら、横 (옆)。

例 : 바로 곁에. すぐそばに。

부모 곁을 떠나다. 父母のそばを離れる。

어린애를 곁으로 부른다. 子どもをそば(傍ら)に呼ぶ。

곁에서 보는 것처럼 수월하지는 않다.

そばで見ているほどやさしくはない。

너 따위는 그의 곁에도 못 간다.

おまえのようなやつは彼のそばにも寄れない。

내 곁에 서 계시는 사람이 우리 아버지다.

僕のそば(わき)に立っている人が僕の父だ。

어머니 곁에서 어리광을 부리던 때가 그립구나.

お母さんのそばできままに甘えていたときに懐かしいな。

②そばで世話してくれる人、側近。

例 : 그는 곁이 많아서 걱정할 필요가 없다.

彼はそばで世話をしてくれる人が多いから心配の必要がない。

(心配には及ばない)。

옆 : ①横、側、傍ら、端、横手、横合い、脇、サイド、隣。

例 : 옆사람. 隣の人。

옆의. 横(側、隣)の。

옆에. 横(側、隣)に。

바로 옆에. すぐ側(隣)に。

옆에 가다. 側に行く(近づく)。

옆에 가까이 가서 보다. 側に近づいて見る。

옆을 지나다. 側を通り過ぎる。

문 옆에 서다. 門の側に立つ。

어머니 옆에 앉다. お母さんの横に座る。

옆을 보다. 横を見る。

옆을 향해서 앉다. 横向きに座る。

길 양 옆에는 나무들이 늘어서 있다.

道の両側に木が立ち並んでいる。

옆에서 참견하지 말라. はたから口出しするな。

나는 자동차에 올라 태워지자 속으로 또 희망원으로 잡혀가게
되었구나 하고 생각하니 눈에서 눈물이 흘러 내렸습니다.

같이 잡혀온 옆의 아이가 『너도 「검」 팔다 잡혔나?』 하고

물었지만 나는 아무 대답도 하지 않고 눈물만 닦고 있었습니다.
ぼくは、自動車にのせられると、心の中で〈ああ、また希望園につれていかれるのだな〉と思いました。すると、(たまらなくなつて)、目から涙がこぼれました。いっしょにつかまえられてきた横の子が、「おまえも、ガム売ってつかまったのか」とたずねましたが、ぼくはなにも答えなくて、涙をふいていました。

『朝鮮語大辞典』に見られるこれらの記述は、簡潔にしてなかなか示唆に富んでいる。同辞典は「옆」 と 「곁」 の区別に関してこの他にも有用な情報を載せている。たとえば「곁」の類似語は、근처(近所)、근방(近方)、부근(付近)、가(縁)であり、「곁」の漢字語は、1) 측(側)、2) 옆(横)、곁(側)、앞(前)であると記している。

さて、「옆」 と 「곁」 の用法の区別について、辞書では十分に説明されているとは言い難いことが明らかになったと思われるが、以下の報告により、その不十分さを補い、本論文の仕事としたい。

ところで、「옆」 と 「곁」 の意味を区別するために、「옆」 と 「곁」 の反対概念を見ておくことは有意義かもしれない。それぞれの反対概念が異なれば、そのことを手掛りにして、基本的な意味の違いにある程度迫ることができるからである。しかしながら、「옆」 と 「곁」 の反対概念は、どちらも「멀리」「저기」「저쪽」「가」などであり、反対概念の相違を手がかりにして、両者の相違を検討することはほぼ不可能である。それゆえ、それぞれの語の用例を出来る限り多く検討することにより、二語の相違を明らかにしてゆこう。

「옆」の基本的意味は、「空間的な右や左の面、よこ、両面、両側」ということである。したがって、次のように「となり」、「よこ」、「サイド」などを示す場合は典型であると考えられる。これらの「옆」を「곁」で置き換えることはできない。

- (1) 저쪽 옆으로 조금만 이동해 주세요.
横へ少しばかり移動してください。
제 옆 자리에 일본사람이 앉았어요.
私の隣の席に日本人が座っていました。
옆사람 답안 보면 안 돼요!
隣の人の答案を見てはいけません。
그녀는 목 옆에 검은 점이 있었어요.
彼女は首の横に黒いほくろがありました。
길 옆에 하수구. 道のわきの下水道。
제 옆방에는 미국사람이 살고 있어요.
私の隣の部屋にはアメリカ人が住んでいます。
그 산 옆이야말로 명당자리예요.
その山の横こそ、うってつけの場所です。
기차길 옆에 오막살이.
線路沿いの掘っ立て小屋。

一方、「결」の基本的意味は、「空間的・心理的に基準物から近い所」ということである。次のような用例は、「결」の典型的な例であるといえよう。

- (2) 그 사람이 내 결으로 돌아왔다.
彼が私のもとへかえって来た。
제 결을 떠나가다.
私のそばを離れる (発っていく)。
부모님 결을 떠나 먼 객지에서 혼자 살아가고 있어요.
両親の元を離れ、遠いところで一人生きています。
님의 결에 머물고 싶어라!
君のそばにとどまりたい。
그의 결에서 떠나고 싶다고 고백했다.
彼のそばから離れたいと告白した。
울며 보채는 아들 결에서 엄마가 미소짓고 있었다.
泣きやまない息子のそばでお母さんが微笑んでいた。
아기 고래 결에 엄마 고래가 함께 헤엄치고 있다.
子鯨のそばでお母さん鯨と一緒に泳いでいる。
결눈질 하지 말아요!
脇見しないでください!

上記のように、「空間的・心理的に基準物から近い所」を表す場合には「결」を用いるのに対し、次のような「트라블」、「危険」の場合は、「옆」の典型的な例であると考えられる。

- (3) 위험해요! 옆에 있는 난로 주의하세요!
危ないです。横の暖炉に気をつけなさい。
옆집과의 트러블로 골치가 아파요.
隣の家とのトラブルで頭が痛いです。
옆방 음악소리가 소란스러워 이사했어요.
隣の部屋の音楽の音がうるさくて引越しました。
위험지역의 옆을 지나가는 화물차를 보니 아찔했다.
危険地域のそばを通り過ぎる貨物車を見てぞっとした。
경계구역 옆에 노란 경고 팻말이 서 있다.
警戒区域の横に黄色の警告が立っている。
그 연못 옆을 지나다니면 안 돼!
その池のそばを通ってはいけないよ。

「옆」は「空間的な右や左の面、よこ、両面、両側」を表す場合ばかりでなく、次のように比喩的な表現としても使われる。

- (4) 옆모습도 보기 싫어요. 「横」顔も見たくない。
옆에서 말참견하다. 横から口を出す。
말을 옆으로 돌리다. 話をわきにそらす。
옆으로 빠지다. 横へそれる。
항상 내 옆에 있다. いつも私と一緒にいる。

옆에서 도와준다. 傍らで面倒を見る。
부모 옆에서 떠나다. 親のひざもとを離れる。
아무말 없이 옆에서 도와준다.
何も言わず傍らで面倒を見てくれる。
옆 짚러 질 받기. 脇をつついて礼を受ける。
(相手をうながしてこちらの利益を計る)。

「옆」について、「右あるいは左の面またはその付近」などと大辞典に記述されているが、「右や左の方向」の場合も「옆」を「곁」で置き換えることはできない。

- (5) 머리를 옆으로 흔들다. 首を横に振る。
담벽을 따라 옆으로 늘어선 줄이 꽤 길다.
塀に沿って横へ伸びた列がかなり長い。
그 버튼을 옆으로 돌려보세요.
そのボタンを横へ回してみてください。
옆으로 보면 안 돼! 그이가 널 보고 있어!
横を見てはだめ! 彼があなたを見ている!
눈이 옆으로 길게 찢어지다. 目が切れ長である。
식사에는 손도 안 대고 옆으로 밀어내었다.
食事には手もつけず、横へ押しつけた。
옆으로 눕는 버릇이 있다. 横向きに寝る癖がある。
방게는 옆으로 걷는다. 葦原蟹は横へ歩く。

「옆」は単に「右あるいは左の面またはその付近」という位置関係を表すだけではなく、「方向性」を伴うと考えるべきである。また、「真上」、「直下」を「옆」で表す例は見つからなかった。

さて、「옆」と「곁」の基本的な意味が、「近いそば、近所、空間的・心理的に近い所」であるとするのは、出発点として間違っていないと思われる。「옆」と「곁」の違いを考える際に重要なことは、それらが純粹に客観的・物理的・空間的な違いや距離だけではなく、権威ある韓国語辞典にも記述されているように、多分に主観的・心理的な状況をも表しているということである。あるもの(人)があるもの(人)の「よこ・そば」にある(いる)」という関係を具現する場面は、現実世界の中に無数に存在する。しかし、「よこ・そばにある(いる)」という両者の関係は、人間の精神が作り出す心理的状況に過ぎない場合もあり、客観的・物理的な距離だけで決まるものではない。

多分、韓国語の話者は、心理的に一定の境界線を引いて、その内側と外側というイメージの相違を、「곁」と「옆」で表現しているのだと思われる。しかしながら、関係概念の把握がそのような心理的な操作で行われている以上、そこには物理的厳密さとはほど遠い曖昧さが存在し、発話時の主観的・心理的状況に左右され易い。当然その区分もまた、主観的・心理的性格を帯び、同じ場面・現象あるいは類似の場面・現象が、あるいは「옆」であるいは「곁」で捉えられることがあって不思議ではない。

次のような例においても、話者は、具体的な場合毎に自然に感じられる方を無意識的に選択して使用しているのであるが、よく考えてみると、「옆」と「곁」のどちらを使っても

おかしくはないのである。

(6) 아빠의 검은 구두 옆/결에는 본 적이 없는 하얀 구두가 보였다.

お父さんの黒い靴の横に見たことのない白い靴が見えた。

거기 서 있지 말고 제 옆/결으로 오세요.

そこに立っていないで私の隣へ来てください。

선수 옆에/결에 바짝 붙어있는 사람은 감독이겠지?

選手のそばについている人は監督だろう。

반전시위를 하는 군중들 옆/결에서 경찰은 지켜보고만 있었다.

反戦デモをやっている群衆のそばで警察は見守っていた。

사장님 옆/결에 비서.社長のそばの秘書。

그 여배우 옆/결에서 매니저가 지시하고 있다.

その女優のそばでマネージャーが指示をしている。

우는 사람 옆/결에서 웃다니 참 무신경하다!

泣いている人のそばで笑うとは本当に無神経だ。

조용히 잠자는 모습을 옆/결에서 지켜보고 있었다.

静かに眠っている姿をそばで見守っていた。

무슨 일이 있어도 꿈쩍하지 말고 내 옆/결에 있어야 돼, 알았지?

何があっても動かずに私のそばにいて!分かった?

신체적 특징은, 배꼽 옆/결에 큰 점이 있다는 것입니다.

身体的特徴は、おへそのよこに大きいほくろがあることです。

그 사람 옆/결에만 가도 향기가 났다.

その人のそばに行くだけで香りがする。

오사카 옆/결에 교토가 있어요.

大阪の隣に京都があります。

광화문 옆/결이라면 여긴데...

光化門の隣ならここなのだが・・・

이 아파트는 부엌 바로 옆/결에 거실이 있어요.

このアパートは台所のすぐ隣に居間があります。

입구 옆/결에 서 있는 여자는 누구지?

入口の横に立っている女性は誰なの?

내 옆/결에 앉지마!私のそばに座らないで!

上記の大辞典では、「결」は人について、心理的あるいは空間的な「そば、わき、もと」を指す」と記しているけれども、ものに対しても心理的な親密関係、依存関係を示す場合にも「결」と「옆」の両方を用いることができる。

(7) 내 옆/결을 스쳐가는 바람에 가을을 느낄 수 있었다.

私の横を通る風に秋を感じることができた。

완행열차 옆/결을 아이들이 달려가면서 손을 흔들고 있다.

各停の電車のそばで子供たちが走りながら手を振っている。

아버님 산소 옆/결에서 3년을 지냈다고 합니다.

お父さんのお墓の横で3年を過ごしたそうです。

거실 남쪽 유리창 옆/결에 고양이가 자고 있다.

居間の南側の窓のそばに猫が寝ている。

현관문 옆/곁에 전신을 비추는 거울이 있다.

玄関のドアの横に全身を映す鏡がある。

벽난로 옆/곁에는 새로 사온 소파가 자리잡고 있었다.

壁の暖炉の横を買ったばかりのソファが占めていた。

이걸 피아노 옆/곁에 놓으면 어떨까요?

これをピアノのそばに置けばどうでしょうか。

치즈케이크 옆/곁에는 따뜻한 홍차가 김을 내고 있었다.

チーズケーキのそばで暖かい紅茶が湯気をたてていた。

휴대폰 옆/곁에 있는 디지털 카메라는 삼성 거야.

携帯の横にあるデジタルカメラはサンソンのものだ。

이 호텔 옆/곁에 커피가 맛있기로 유명한 카페가 있어요.

このホテルの隣にコーヒーが美味しいことで有名なカフェがあります。

また基準物から空間的に遠く隔たっている場合には、物理的・心理的な区分から類推することは困難である。このような場合も、「옆」 と 「곁」 の両方を用いることができる。

(8) 지구 옆/곁을 스쳐가는 행성을 관찰한다.

地球の横を通り過ぎる流星を観察する。

화성 옆/곁을 지나가는 우주선.

火星のそばを通っていく宇宙船。

금성 옆/곁에 있는 지구라는 곳에 살고 있어요.

金星の隣にある地球という所に住んでいます。

最後に、「옆」 と 「곁」 で示してはいるが、「もの(人)とももの(人)」の位置関係を表すだけでなく、「様々なもの(人)が並んでいる」という意味で使われている場合においては、「옆」 と 「곁」 の両方を用いることができる。つまり、「AとBと・・・」のように並列する場合には、「옆」 と 「곁」 の両方を用いることができる。

(9) 피카소 옆/곁에 샤갈, 샤갈 옆/곁에 고흐.

ピカソの隣にシャガール、シャガールの隣にゴッホ。

신문 옆/곁에 잡지. 新聞の隣に雑誌。

빨간 우산 옆/곁에 노란 우산, 노란 우산 옆/곁에 파란 우산.

赤い傘の隣に黄色い傘、黄色い傘の隣に青い傘。

하얀 블라우스 옆/곁에 꽃 무늬 스카프.

白いブラウスの隣に花柄のスカーフ。

왕자 옆/곁에 공주.

プリンスの隣にプリンセス。

종업원 옆/곁에 있는 손님.

従業員の隣にいるお客さん。

키 큰 사람 옆/곁에 조그마한 사람.

背の高い人の隣に背の低い人。

흰 구름 옆/곁에 먹구름.

白い雲のそばに黒い雲。

일식집 옆/곁에 양식집.

和食屋の隣に洋食屋。

수영장 옆/곁에 체육관.
 プールの隣に体育館。
 튜립 옆/곁에 수선화.
 チューリップのそばに水仙の花。
 학생 옆/곁에 선생님.
 学生の隣に先生。
 조종사 옆/곁에 부조종사.
 操縦士の隣に副操縦士。
 사과나무 옆/곁에 살구나무.
 林檎の木のそばに杏子の木。
 대추 옆/곁에 밤.
 なつめの隣に栗。
 자전거 옆/곁에 멋진 외제차.
 自転車のそばに素敵なお車。
 아빠신발 옆/곁에 아기신발.
 お父さんの履物の隣に赤ちゃんの履物。
 키보드 옆/곁에 사전. 키보드의そば에 辞典。
 여왕의 초상화 곁/옆에는 황태자의 초상화가 걸려있다.
 女王の肖像画の横には皇太子の肖像画がかかっている。
 초상화 옆/곁에 사진이 걸려있다.
 肖像画の横に写真がかかっている。
 드럼 옆/곁에 색소폰. 드럼의隣에 사크소폰。
 은행나무 옆/곁에 느티나무. 銀杏の木の隣에 케야키 (榉)。
 소주 옆/곁에 와인. 燒酎の隣에 와인。
 빨간 치마 곁/옆에 노란 저고리가 새색시를 맞이하고 있다.
 赤いスカートの横に黄色いチョゴリが新婦を待っている。
 주택가 옆/곁에 공원 화장터. 住宅街のそば에 靈園火葬場。
 템즈강 옆/곁에 빅벤. テムズ川の隣에 ビッグベン。
 의자 옆/곁에 빨간 가방이 놓여있다.
 椅子の横に赤い鞆が置いてある。
 프랑스 옆에 독일, 독일 옆에 폴란드.
 フランスの隣에 ドイツ、ドイツの隣에 ポーランド。
 개 옆/곁에 고양이. 犬の隣에 猫。

以上、「옆」と「곁」の用法の異同について、従来の辞書による説明に、さらに詳しい分類を重ね、両者の使い分けの目安のようなものを示すことができたと思われる。

参 考 文 献

李熙昇編集『국어대사전 (国語大辞典)』(第3版修訂版) 民衆書林、1999年
 ハングル学会編『우리말 큰 사전 (国語大辞典)』(第7版) 語文閣、1999年
 申琦澈・申瑢澈編著『새 우리말 큰 사전 (新国語大辞典)』(第9版) 三省出版社、
 1992年

国立国語研究院編『표준국어대사전 (標準国語大辞典)』(初版)斗山東亜、1999年
韓国語辞典編纂会『국어대사전 (国語大辞典)』三星文化社、1991年
金星版『국어대사전 (国語大辞典)』金星出版社、1995年
남영신編『한 국어사전 (ハン国語辞典)』省安堂、1998年
大阪外国語大学朝鮮語研究室編『朝鮮語大辞典』角川書店、1986年
油谷幸利他編『朝鮮語辞典』小学館、1997年
『新韓日辞典 (例解)』民衆書林、1996年
金光해編『반대어사전 反对語辞典』國学資料院、1970年
車美愛 (1997)、「속」 と 「안」 に関する覚え書き、大阪府立大学人文学会人文学論集、
第 15 集、1~13.
車美愛 (2003)、「밑」 と 「아래」 に関する覚え書き、大阪府立大学人文学会人文学論集、
第 21 集、27~47.